

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

地元の良さ、再認識



大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

ボードゲームと七味

ボードゲームスペース なないろ

あぶかわ

虻川

ゆたか

裕さん

今回は、ボードゲームを通じた交流の場「ボードゲームスペース なないろ」を運営する、虻川さんにお話を伺いました。地域おこし協力隊として大田原市に移住し、唐辛子栽培や七味の販売に取り組んできた虻川さん。退任後に始めた店作りの挑戦には、どのようなきっかけや思いがあったのか。その軌跡と苦勞を伺いました。



ボードゲームを手にする虻川さん

ボードゲームとの出会い

虻川さんー「ボードゲームを知ったきっかけは、社会人になってからの友達作りだったんですよ。都内で働いていた頃、職場以外の友達が欲しいなって思ったときに、ボードゲームサークルのイベントを見つけて行ってみたら、すごく面白くてね。それで、その場で友達ができたり、ゲームを教えてもらったり。そこから『自分もやってみよう』ってボードゲームを買い始めたのがきっかけですね。」

趣味から仕事へ

虻川さんー「ボードゲームを集めていくうちに、気づけば600種類くらいになっちゃって(笑)。それで、地域おこし協力隊を退任するときに、この数を活かして何かできないかと考えたんですよ。ちょうどその頃、知人からこの場所を借りる事ができ、住む場所と店のスペースが一緒にできるという、最高の条件で始めることができました。でも、最初は大変で、月収2〜3万円くらいだったので、バイトしながらなんとか生活を繋いでましたね。」

ボードゲームの魅力

虻川さんー「ボードゲームの魅力って、誰とでも自然にコミュニケーションが取れるところだと思うんです。うちのお客さんは一人で来る人が多いんですけど、相席で知らない人同士が遊び終わった頃にはLINE交換してたりとか。社会人になってから友達を作るのって難しいけど、ここなら趣味を通じて自然に交流が生まれるんです。初めての人には簡単なゲームから紹介して、徐々にハマってもらう。そのうち常連さんと一緒に遊ぶようになって、どんどん沼にはまっていく感じですね(笑)。」



たくさんのボードゲームが並ぶ店内

店舗運営の試行錯誤

虻川さん「お客さんを増やすために、いろいろ試しましたよ。SNSで店のことを発信したり、地元のイベントに参加して顔を売ったり。最初は唐辛子の販売で注目を集めながら、『実はボードゲームもやってます』って感じで宣伝してました(笑)。あとは、小学生は無料で来れるようにして親子での利用を増やしたりして、今では小学生から60代のお客さんまで幅広い世代が遊びに来てくれるようになりました。」



イベントでの七味販売

これからの挑戦

虻川さん「これからやりたいのは、ボードゲームの大会を開くことです。あと、婚活イベントも開きたいと思ってます。ボードゲームは対面で話しながら進めるから、自然と打ち解けられるんですよね。ただ、女性側のツテがまだなくて、そこをどうにかしたいなと考えてるところです。店を続けるのは簡単じゃないけど、こうやって人が集まって、楽しんでくれている姿を見ると、やっぱりやりがいがありますよね。」



【営業日】

水・木・金 : 18時00分～23時59分

土・日・祝日 : 13時00分～23時59分

【定休日】

月・火

栃木県大田原市山の手2-6-13 2階

TEL 080-5681-3983



ホームページ



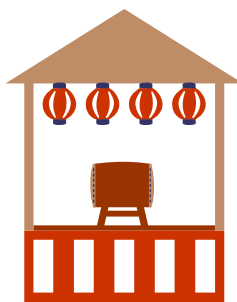
取材した方に聞きました

「あなたの好きな大田原」

大田原屋台まつり

虻川さんより

移住前は地域行事に参加する事がなかったので、地域の方と交流出来てとても楽しいです！



“



虻川さんが参加した組内の屋台

”

大田原の魅力発信中

皆さんも
#大田原暮らし
でご投稿ください！

Instagramをチェック！

お問合せ

大田原市の移住相談窓口

大田原市移住・定住交流サロン

大田原市本町1-3-1 大田原市役所A別館2階

Tel : 0287-23-8794 (平日/9:00~17:00)

Mail : salon@ohtawara-ijyu.jp



ホームページ



Facebook



Instagram

大田原の暮らし、地域情報など発信中！

担当課：大田原市役所 総合政策部 政策推進課